

超えていく

創造的復興の
実現に向けて



リボンガス株式会社 [西区小島]

代表取締役

内海 久俊 さん

U t s u m i H i s a t o s h i

熊本地震後は保安検査に邁進

住宅用から業務用まで、暮らしに欠かせないLPガスの販売、電気・上下水道などのライフライン工事や、住宅設備を提供する『リボンガス(株)』。熊本地震による自社の被害は軽度でしたが県内一円に広がる顧客の安否確認、住宅設備等保安の復旧に迅速な対応が求められました。

「一番懸念したのは、ガス漏れによる二次被害の発生でした。本震では耐えられても、余震による金属疲労を原因とするガス漏れ発生の危険もあるため、3カ月程ですべての顧客の点検を完了しました」と代表取締役の内海久俊さん。しかし、顧客の中には避難所での生活を余儀なくされた方も多く、LPガスの利用は落ち込み、設備やリフォームなどの工事もストップするなど厳しい経営状況に。「昨年9月までは赤字が続きました」と振り返ります。

顧客の見回り点検を続けながらも、気掛かり



だったのが甚大な被害を受けた益城町。現場に行き、益城町や熊本市東部の被災状況を目の当たりにし、即座に支援の方法を模索しました。「被害が少なかった私たちが地元をサポートしなければ」と、県外の取引先に支援物資の応援を依頼。社員みんなで避難所に届けました。

熊本地震で気付いた 温水床暖房の“火災リスクゼロ”

安全点検やボランティアなど、地域への支援活動が続ける中で、内海さんは新たな気づきを得たと言います。それが10年前から手掛けて

地震で再確認した商品性能 火災リスクゼロの“温水床暖房”を全国へ

きた温水床暖房の“火災リスクゼロ”です。「今回の地震を体験し、寒い時期だったら火災の被害が増えていたかもしれないとゾッとしました。屋内に火気を置くリスクは、頭では分かっていたつもりでしたが今回、リスクが明確になりました」。高齢者や子どもたちに優しい暖房設備として考案された“温水床暖房”。これまで、床から部屋全体を暖める遠赤外線放射性能や水漏れしないパネルの強度、コストなどをメリットとして打ち出してきましたが、地震対策としても勧められると確信。介護施設や保育園はもちろん、倒壊した家を建て直す人たちにも提案したいと真摯に話します。

地域密着のLPガスと 全国展開の“床暖”事業の 両輪で再スタート

地域密着型のLPガス事業と合わせ、温水床暖房で全国展開を進める同社。熊本県経営革新計画や熊本市ものづくり大賞に認定された先進技術を有し、県内外のガス会社や電気店、設備設計事務所など52社とパートナーシップを結んでいます。このネットワークを生かし、支援物資の依頼や被災地支援の対応なども行いました。

「地震の経験は忘れず、前に進むことが復興だと思います。地震は日本のどこでも起こります。熊本の経験を他県でも生かせるよう、パートナー企業との連携を強化し、顧客の安全安心な暮らしを支えていきたい」と、地域の復興と自社の飛躍へ向け、力強く語ってくれました。



会社概要

社 名：リボンガス株式会社
住 所：熊本市西区小島5-16-26
T E L：096-329-1511
創立年月日：1992年

従業員数：19名
事業内容：LPガス・ライフライン・住宅設備・
温水床暖房・リフォームリノベーション
U R L：http://www.ribongasu.jp